

市民運動が力に
H27
H28 連続引き下げ実現

国保料 H29も続けて 引き下げを!!

財源は充分ある

市民運動が引き下げを実現

高い国保料が、H27、28年度と2年続けて、引き下げが実現しました。加入者一人当たり2年で平均12,000円です。これまで、10年以上毎年署名運動に取り組んできた市民運動が大きな力となりました。

引き下げても H27決算 37億円の黒字 国保基金には41億円も!

来年度も、引き下げは充分できる

H27年度決算は国保料を引き下げても37億円もの黒字。国保基金には、41億円もまだ残っています。しかも、予備費は26億円もあります。例えば一人1万円引き下げに必要なのは18億円です。国保料はまだまだ高すぎます。来年度も引き下げは充分できます。

H30より国保運営が県に移行 国保料値上げを許さない世論を

H30年度から、国保運営は県単位となり、また値上げされる恐れがあります。再び値上げを許さないためにも、世論を大きく広げましょう。市独自の国保行政を守らせましょう。

日本共産党市議団の提案

- 議員団は、重い負担軽減のため、今後も市民の皆さんと力を合わせます。
- 一般会計からの繰り入れを元に増額させ、市民負担を軽減させます。
- H30年からの国保県単位化にむけ、負担増を許しません。

日本共産党静岡市議団ニュース
2016年9月No.8国保特集
電話 054-254-2111 (内線4541)
FAX 054-272-4695
日本共産党静岡市議会議員団

